



巻頭言

情報化社会の統計教育

茨城県教育研究会統計教育研究部長

赤塚 景 一

今年第16回を迎える兵庫県州市で開かれた全国統計教育研究会の主題は、「情報化社会の統計教育」である。1970年は日本の情報化元年といわれる。それは社会における情報量が加速度的に増大し氾濫しつつある中で我々が新しい時代の到来を強く意識しはじめると共に、教育が情報からの挑戦に答えなければならないことを認識するに至ったことを告げる年である。

統計教育はさまざまな情報に対処し、それを主体的に受けとめ合理的に処理し、問題を解決していく能力や態度を育てようとするのをねらいとしている。主として算数数学、理科社会、道徳特活等の領域に関係するが、学習指導全般の改善の中で、統計的手法が重要な役割を果たしていくのである。

研究会には20の研究部があり、それぞれ全県的な研究組織をもち継続的な研究活動を展開しているが、統計教育研究部も全国的な研究の広がりの中で、特別県統計課の強力な応援を得て、組織の強化、普及振興に努力している。以下本年度の概要を記して一般の理解と協力をお願いいたします次第である。

1. 統計教育推進地区の設置（統計課より補助）

下記5地区を指定、郡市部長校が推進の中核となり、地域内の普及と研究をもち上げるための活動を展開する。講習会研究大会等には積極的に参加すること。

県北	高萩地区	高萩中	佐川敏孝
中央	西茨城郡	岩間二小	田村恵
	鹿島郡	大竹小	大川亮
県西	結城郡(八千代)	石下西中	吉原勇
県南	土浦市	東小	赤塚景一

2. 指導者の研修会 6月

郡市の幹部中堅層の研修会を開催、地域の普及浸透の中心としての活躍を期待して実施、講師は指導課の石川敏夫先生である。

3. 統計グラフ実技講習会の開催 7月

指導技術の向上をめざし4地区にわけて実施、各会場とも盛会で好評を受け、講師は統計課と結城市の伊東健先生である。

4. 東日本地区統計教育講習会（文部省） 8月

山形県蔵王で開催、推進地区より7名参加。報告会をもつて普及に努力している。

5. 県主催統計グラフコンクール 9月

7月の講習会の成果として、109校691点の出品で審査には8時間を要したが、すぐれたアイデア、継続的な観察、アンケート調査等努力の結晶が多く、優秀作品10点を全国展に送った。応募が年々全県の広がりをみせ、作品も飛躍的に増加してきたことは、普及浸透の賜物である。

6. 県教育研究発表大会 10月23日 水戸二中

本会の最大の行事である発表大会が今年も水戸二中で開催される。約1,500名が各研究領域別に分科会をもち、熱心な発表討議が行われる。統計教育部も小・中の二分科会が持たれる。盛会とその成果に期待している。

7. 全国研究大会 11月12・13日

全国統計教育振興協議会が中心となり毎年全国大会が開かれる。質的・量的にも充実発展し年間最高の研究会である。今年には土浦市東小の猪俣先生が県を代表して発表者となり、部長外5名の参加が決定している。

8. 研究協議会の開催 12月下旬

年間の総括として、講習会研究大会の報告会を兼ね、研究討議を重ね、今後の活動の基盤作りをする。

9. 県統計協会出版図書推せん

県民手帳、県勢要覧、県勢要図の採用普及に対し、積極的に協力、年々成績を上げている。